

共育を実現する会

—世界の流れへの逆行を許さない—

開催日時：2022年11月19日（土）
13：30～16：30

会 場：奈良市生涯学習センター
(駐車台数に限りがあるため公共交通機関をご利用ください)

集会の趣旨

障害者の権利条約でも規定されているとおり、世界の流れは「障害を理由に分けない」「ともに学ぶ（インクルーシブ）教育」へ舵が切られています。

しかし、今春、わが国の文部科学省は特別支援学級に入級している児童、生徒については、全授業時間数の半分以上は「特別支援学級で学ぶべき」という内容の通知を発出して、全授業時間の半数以上を普通学級で過ごす児童、生徒には次年度以降は、退級を勧めることを前提とした実態調査を行っています。

そんな最中、2022年8月22日・23日に、スイス・ジュネーブの国連欧州本部で、日本政府は「障害者の権利に関する条約」（以下、障害者権利条約）に関する初めての審査を受け、特別支援教育を巡っては通常教育に加われない障害児がおり、分けられた状態が長く続いていることに懸念を表明し、通常学校が障害児の入学を拒めないようにする措置を要請したほか、分離教育の廃止に向けた国の行動計画策定を求める勧告が出されています。

世界の流れに反して、障害の有無による分離教育を推し進めようとするこの国の現状を広く市民に周知するとともに、世界の流れに逆行する分離教育から「ともに学ぶ」教育環境を実現するために本集会を開催します。

集会内容

1. 開会
2. 「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について(通知)」とその背景に潜む教育現場の課題についての解説
渡辺哲久(社会福祉法人ひまわり)
3. 国連勧告の内容と我が国の課題についての解説
尾上浩二氏(DPI日本会議副議長)
4. 現場からの報告(2名)
小学校教員
元小学校教員
5. 専門家からの意見
堀 智晴先生
6. 参加者からの意見
会場から
7. 集会決議(県教委への公開質問状)の読み上げ
8. 閉会

【主催(3団体共催)】

奈良県「障害者」運動ネットワーク
ピープルファースト奈良
奈良県障害者差別をなくす条例推進委員会